

G検定で、DX時代のリスキリングの第一歩を
“最新学習歴の更新を始めよう”

次回「G検定2022#3」は、2022年11月4日・5日の2日間開催！

（受験申込は2022年8月1日より受付開始！ 10月27日（木）23:59まで）



JDLA
Deep Learning for

GENERAL

デジタル時代のビジネスパーソンのための
AI・ディープラーニングの活用リテラシーを
身につけるための検定

G検定（ジェネラリスト検定）



Japan
Deep Learning
Association

全員に、全体を。

Di Lite

デジタル人材育成を
加速する

デジタルリテラシー協議会

G検定とは？

G検定紹介動画
公開中！



JDLA
Deep Learning for
GENERAL

ディープラーニングの基礎知識を有し、適切な活用方針を決定して、
事業活用する能力や知識を有しているかを検定する。



G検定を通じて学べること

01

AIとは

02

AI領域における
様々な技術手法

03

ディープ
ラーニングとは

04

産業活用事例

05

活用のために
知っておくべきこと

06

数理・統計
基礎知識

DX 時代における G 検定

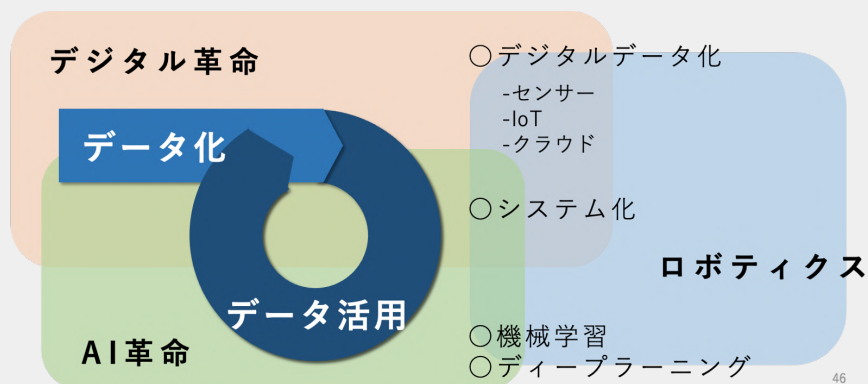


JDLA
Deep Learning for
GENERAL

DXが進むこのデジタル社会のビジネスにおいて、G検定の内容は
ビジネスパーソン必携のデータ活用リテラシーに。

“何がデータ化できて”、課題解決のために“AIでどんなアプローチが可能か”
これを理解する“目”と“手”を備えていることが重要になっています

“データ活用”における急速な進化
デジタル革命→AI革命の時代に



46

AI・ディープラーニングの技術進歩により
“データ化できるもの”は増え、“データ分析”の常識が変わった

1. データが扱えるようになった



2. 扱えるデータの量が増えた



3. データ化できるものが増えた



4. あらゆるものが自動化可能になってきた

“目”と“手”

“Data Science”

データを扱う
リテラシー

“AI・Deep Learning”

データ化する&データ活用
のためのリテラシー

DX 時代における G 検定

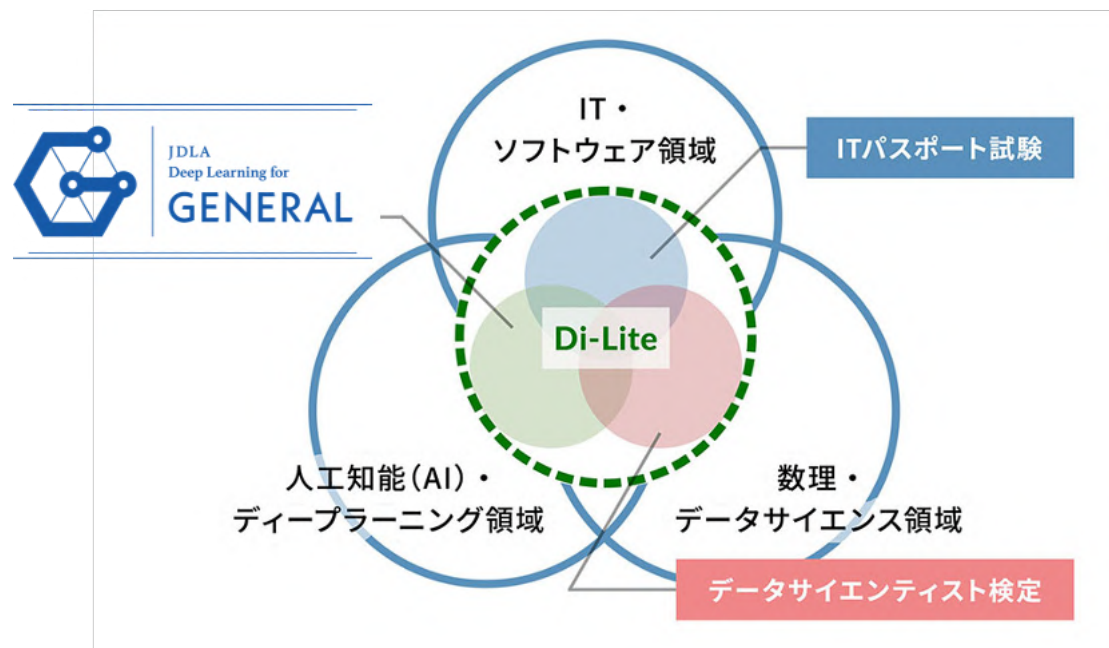


JDOLA
Deep Learning for
GENERAL

すべてのビジネスパーソンが学ぶべきデジタルリテラシー

Di Lite 習得のための試験としても設定、推奨されています。

経済産業省がオブザーバーを務める
デジタルリテラシー協議会は、
全てのビジネスパーソンが持つべき
デジタルリテラシー（Di-Lite）のうち、
AI・ディープラーニング領域に関しては
G検定の受験を推奨しています。



[DXに見るAI・ディープラーニング活用事例]

日経XTECH ディープラーニングで 変わるビジネス

~ Deep Learning for Digital Transformation ~



#01
工場のDXは
ディープラーニングで
運ぶ、作る、検査する
段取りを一新

武蔵精密工業株式会社
代表取締役社長・最高経営責任者
大塚 浩史氏

「時代の大きなうねりは変えられない。
自分たちが変わらなければ。」

2018年1月、すべては変わった。

<https://special.nikkeibp.co.jp/atclh/NXR/21/jdla0430/>

AI（人工知能）をインフラにして、
工場の在り方をガラリと変える



天井にカメラを設置。
AI活用で実現した
自社開発の無人搬送機

武蔵精密工業が提供している
自動搬送車（SDV）



50ミクロンほどの傷を
見分けるAI検査装置

武蔵精密工業が提供している
AI 外観検査装置

[DXに見るAI・ディープラーニング活用事例]

日経XTECH ディープラーニングで 変わるビジネス

～ Deep Learning for Digital Transformation ～



「関わる人みんなを幸せにするから
DXは進んでいく」

満足度向上、離職率低下の好循環

<https://special.nikkeibp.co.jp/atclh/NXR/21/jdla0430/>

保育の現場にもDXは起こる。
データ化が価値を膨らませていく。



G検定 こんな人におすすめ



JDOLA
Deep Learning for
GENERAL

G検定は、デジタル時代のビジネスに関わる
すべての人にオススメしたい資格試験です

AIについて
体系的に理解したい

データを活用した
新しい企画を考えたい

AIでどんなことが
できるのか知りたい

便利なデジタルツールの
導入・活用を進めたい

エンジニアと連携を深めたい



DX理解のための
リテラシーを習得したい

会社のDXに向けて
リテラシーを向上させたい

ITベンダーとの協業を
円滑に進行したい

G検定 受験者の声



JDLA
Deep Learning for
GENERAL



製造業系企業
30代DX推進担当

AIに興味があったので、体系的に知識を身につけたいと思い、受験しました。
学んでみて、**データ活用に関する知識として非常に重要**だと感じ、そこから
社内でG検定勉強グループを作り、学習の輪を広げています。



ユーザー企業
20代企画職

会社の奨励を受けて受験しましたが、**数学が苦手な文系職種の私でも合格**
できました。学習に詰まる所も途中いくつかありましたが、**前提知識ゼロの人でも**
2ヶ月程度ちゃんと勉強すればクリアできるレベルだと感じました。



金融系企業
20代法人営業職

法人営業している中で、**DX理解のためのリテラシー**としてAI理解の必要性を感じ、
受験しました。**クライアントと同レベルで会話できるようになった**ことで、
商談提案などの際に非常に役立っています。



現役高校生
10代

高校生ですが、AIに興味があり受験しました。元々プログラミングを学んでいて
楽しかったのですが目標を持ちづらく感じていて、**G検定は良い目標になりました。**
わからない単語が多く初めは難しく感じましたが、学習は楽しかったです。

G検定 合格者の活躍例



JDLA
Deep Learning for
GENERAL

Case.1

自社で保有する社員クチコミデータを活用した新しいAIマッチングサービスを社内エンジニアと協力して開発、リリース。日本の労働市場に一石を投じ、転職・就職の失敗を減らすチャレンジへ！

(2020#3合格 大澤さん)



Case.2

行政機関の中で、組織内とまちづくり両面でDXを推進中。職員の意識改革や勉強会の開催などを行いながら、行政機関の持つデータを武器に“新価値創造”を目指す。

(2020#2合格 井上さん)



他にも活躍するたくさんの合格者の様子取材/紹介中！



dlfordx.jp



G検定 企業における導入事例



JDLA
Deep Learning for
GENERAL

Case.1

[SMBグループ]

“DX or DIE”

DXに向け、全社員を対象にしたデジタル教育の中で導入/推奨

人材区分	全従業員	営業人材	企画人材	戦略人材	開発人材
目指すビジョン	最高の信頼を通じて、お客さま・社会とともに発展するグローバルソリューションプロバイダー				
	DXへの余力抽出	お客さまのDX	私たちのDX		
期待する行動変革・人材像	現場起点のデジタル活用で生産性向上	顧客視点でお客さまのDXを支援・共創	デジタル活用でビジネスの更なる変革・創出	DXを支えるビジョン・組織人材・インフラ変革	テクノロジー起点のビジネス共創と更なる安定稼働
	使う人			作る人	

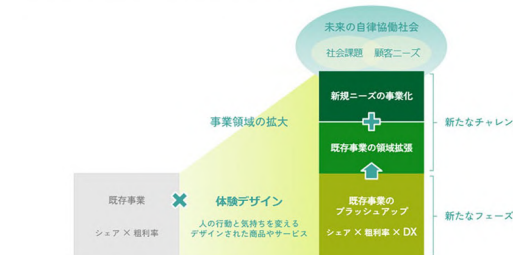
作る人だけでなく使う人も含めた全従業員デジタル教育を

Case.2

[コクヨ株式会社]

情報システム部発、DXデザイン室と共に進める人材育成の取り組みの中で、G検定を導入/推奨

体験デザインにデジタルを掛け合わせて事業領域を拡大する



KOKUYO

Copyright © 2022 KOKUYO Co., Ltd. All rights reserved.

デジタル推進タスクの取組全体像

- ・2020年にデジタル推進タスクを発足し、今年で3年目
- ・情報システム部社員(60名)より、手挙り制で募集。2020年12名、2021年15名参画。2022年も継続活動！



KOKUYO

Copyright © 2022 KOKUYO Co., Ltd. All rights reserved.

DXのためのデジタル人材育成事例を紹介するウェビナー企画も不定期開催中です
(アーカイブも公開中！)

Main Contents

ゲストによる
テーマプレゼンテーション

ダイハツが取り組む
AI人材育成戦略

GUEST
ダイハツ工業株式会社
太田 無限氏

Main Contents

ゲストによる
テーマプレゼンテーション

CTCが推進する、“DXド真ん中”
DXを導く人材の育成とは？

Guest
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
飯野 浩介氏

「面」としてデジタル学習機会を提供し、自律的なリスキリングへ



31

dlfordx.jp



G検定試験概要



JDLA
Deep Learning for
GENERAL

受験資格

制限なし

実施概要

試験時間：120分
知識問題（多肢選択式・220問程度）
オンライン実施（自宅受験）

出題範囲

シラバスより出題

受験費用

一般：13,200円（税込）
学生：5,500円（税込）

【再受験の方】

受験日から2年以内の方は半額（一般：6,600円、学生：2,750円）で受験することができます。対象者の方は受験サイトにて過去に受験された際のIDでログインし、受験申込まいただくことで割引料金が自動で適用されます。
※再受験制度の適用は個人でのお申込み時にのみ有効です。団体経由でのお申込みでは適用不可となりますのでご了承ください。

【AI For Everyone修了者の方】

Courseraの受講修了証をご提示いただくと、G検定を30%引き（一般：9,240円、学生：3,850円）で受験することができます。詳しくはG検定試験サイトをご確認ください。

詳細な試験情報は

G検定試験サイトにてご確認ください



G検定 シラバス (試験範囲)



JDLA
Deep Learning for
GENERAL

人工知能 (AI) とは (人工知能の定義)

人工知能をめぐる動向

- 探索・推論、知識表現、機械学習、深層学習

人工知能分野の問題

- トイプロブレム、フレーム問題、弱いAI、強いAI、身体性、シンボルグラウンディング問題、特微量設計、チューリングテスト、シンギュラリティ

機械学習の具体的手法

- 代表的な手法 (教師あり学習、教師なし学習、強化学習)、データの扱い、評価指標

ディープラーニングの概要

- ニューラルネットワークとディープラーニング、既存のニューラルネットワークにおける問題、ディープラーニングのアプローチ、CPU と GPU、ディープラーニングのデータ量、活性化関数、学習率の最適化、更なるテクニック

ディープラーニングの手法

- CNN、深層生成モデル、画像認識分野での応用、音声処理と自然言語処理分野、RNN、深層強化学習、ロボティクス、マルチモーダル、モデルの解釈性とその対応

ディープラーニングの社会実装に向けて

- AIプロジェクトの計画、データ収集、加工・分析・学習、実装・運用・評価
- 法律 (個人情報保護法・著作権法・不正競争防止法・特許法)、契約
- 倫理、現行の議論 (プライバシー、バイアス、透明性、アカウンタビリティ、ELSI、XAI、ディープフェイク、ダイバーシティ)

詳細なシラバスは

G検定試験サイトにてご確認ください



G検定 受験者動向

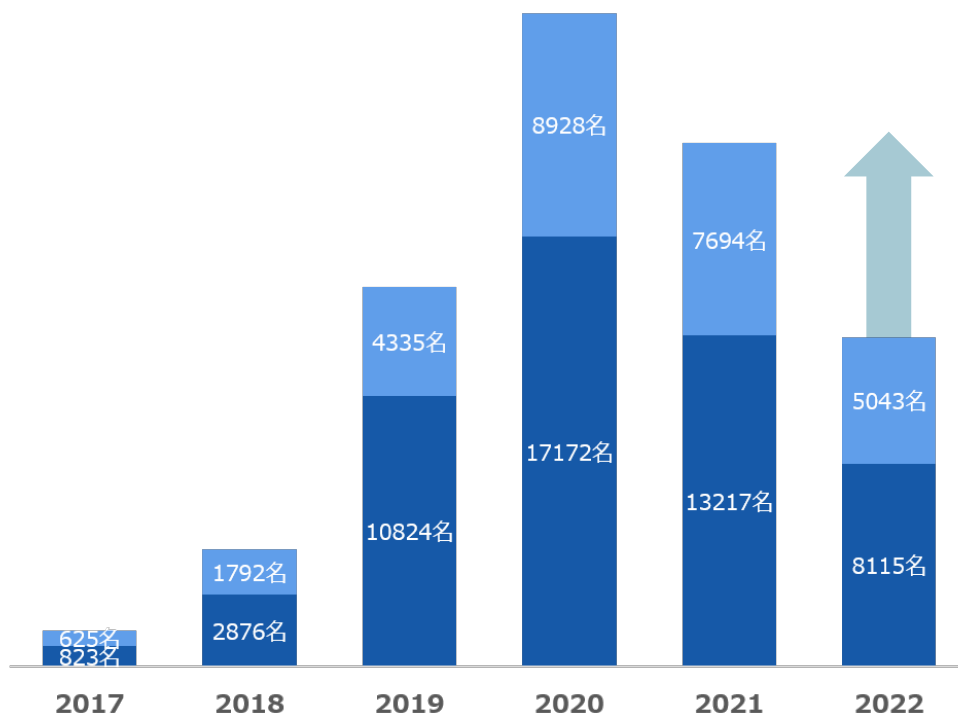


JDLA
Deep Learning for
GENERAL

G検定合格者は、5万名を突破！

G検定 累計受験者：81,444名 累計合格者：53,027名

■ 合格者 ■ 不合格者



[2022#1試験における受験者属性]

業種	合格者数	全体の割合
ソフトウェア業	661	16.88%
情報処理・提供サービス業	813	20.76%
コンピュータ及び周辺機器製造または販売業	166	4.24%
農業、林業、漁業、鉱業	4	0.10%
建設業	59	1.51%
製造業	694	17.72%
電気・ガス・熱供給・水道業	41	1.05%
運輸・通信業	183	4.67%
卸売・小売業、飲食店	59	1.51%
金融・保険業、不動産業	509	12.99%
サービス業	156	3.98%
調査業、広告業	14	0.36%
医療・福祉業	38	0.97%
教育（学校、研究機関）	22	0.56%
官公庁、公益団体	44	1.12%
大学院生	17	0.43%
大学生	28	0.71%
専門学校生	3	0.08%
不明	327	8.35%
無職、その他	79	2.02%
総計	3,917	100.00%

職種	合格者数	全体の割合	年代	合格者数	全体の割合
研究・開発	935	23.87%	10代	46	1.17%
情報システム・システム企画	860	21.96%	20代	1,586	40.49%
営業・販売	311	7.94%	30代	1,105	28.21%
企画・調査・マーケティング	288	7.35%	40代	781	19.94%
生産・製造	235	6.00%	50代	342	8.73%
経営・社業全般	53	1.35%	60代	53	1.35%
経営企画	61	1.56%	70代	1	0.03%
総務・経理・人事	106	2.71%	80代	1	0.03%
学生	338	8.63%	不明	2	0.05%
その他	712	18.18%	総計	3,917	100.00%
未回答	18	0.46%			
総計	3,917	100.00%			

G検定 合格者コミュニティ



JDLA
Deep Learning for
GENERAL

「E資格」合格後も、「G検定」「E資格」の合格者だけが参加できる
コミュニティCDLEで、継続的な学び、実践を。

COMMUNITY OF
DEEP LEARNING EVANGELISTS



CDLE

学ぶ・繋がる・使う

ディープラーニングで繋がる
日本最大のコミュニティ

G検定E資格の累計合格者、5万人突破！

日本最大級のコミュニティ

ディープラーニングを「使える人」と「作れる人」が、
“学び”、“繋がり”、“使ってみる”、ことができる
場を共有することで、ディープラーニングを中心とする技術の社会実装を加速。



さまざまな情報交換や交流が日常的に行われ、
イベントやハッカソンなどもたくさん開催されています！

JDLA
Deep Learning for
GENERAL



Japan
Deep Learning
Association